



# 御 礼

ストップ温暖化「エコカップやまがた2017」実行委員会

委員長 佐藤 五郎



昨年は「〇〇ファースト」という言葉を頻繁に耳にしました。いかに選挙の便宜用語にしても随分簡単に使用されている感があります。とくにアメリカファーストを唱え上げて当選したトランプ大統領は、いとも簡単にパリ協定離脱を宣言しました。私はトランプ氏の立っている場所が地球ならば、先ずは「地球ファースト」を唱えてほしかったと強く感じます。人は順番に惑わされ、とくに1番の数字に強く惹かれます。そのような心理的効果を

狙って選挙時には根拠の薄い「〇〇ファースト」が乱れ飛びます。いま世界各地で台風や豪雨などによる大規模な気象災害が頻発するのに接し益々「地球温暖化防止ファースト」こそが人類が唱えるべき標語であると痛感します。

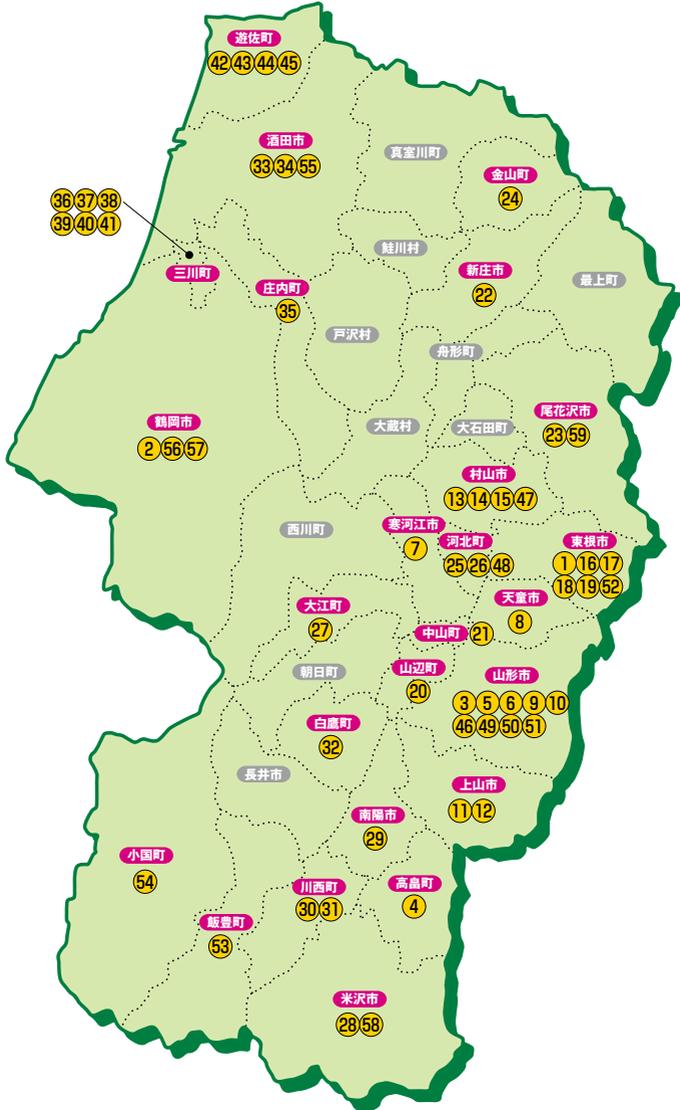
「エコカップやまがた」は、11年目を迎え新たな段階に突入しました。今年も県内各地から59点の応募事例があり、なかでも循環も含めた環境教育関係が半数近くを占め、次いで再生可能エネルギー関係、省エネルギー関係の順になっています。いずれの活動事例も温暖化防止への熱意と工夫に溢れており学ぶべき内容の深いものでした。改めて敬意と感謝の念を表したいと思います。そして数回にわたる検討を重ね、時間的制約から8団体に最終プレゼンをお願いしたところです。その結果、東根市による「環境ISOの取組」をエコカップやまがた大賞に選出し2月に行われる低炭素杯2018全国大会に推薦しました。これまでも環境大臣賞をはじめ多くの全国表彰を受けており、その途切れない活動は、まさに温暖化防止環境先進県とも呼べるものです。山形県を代表して全国各地の方々に強くアピールしてほしいと願っています。

## 【ストップ温暖化「エコカップやまがた2017」実行委員会】

- <委員長> 佐藤 五郎 (NPO法人 最上川リバー・ツーリズムネットワーク 代表理事)  
小谷 卓 (鶴岡工業高等専門学校 名誉教授)  
青塚 晃 (株式会社山形新聞社 論説副委員長)  
菅原 弘紀 (NPO法人 山形県自動車公益センター 顧問)  
佐藤 孝喜 (山形県環境エネルギー部環境企画課長)

# 活動地域マップ

～ どの市町村で活動しているのかな？ ～



※マップの番号と団体名は、「3・4ページ」に記載していますので、ご覧下さい。

# ストップ温暖化「エコカップ やまがた2017」

## 目 次

実行委員長あいさつ、実行委員の紹介	1
活動地域マップ	2
目 次	3～4
活動事例発表会、低炭素杯2018の様子	5～6
活動紹介	7～31
*各団体のページは、以下の一覧をご覧ください。	
共催団体の活動等の紹介	32
過去の「エコカップやまがた」大賞団体	33

### 【活動内容一覧(全活動団体紹介)】

分類	取り組みの名称	団体名	市町村	マップ 番号	ページ
発 表 団 体	環境ISOの取組	東根市	東根市	①	7
	環境フェアつるおか事業	環境つるおか推進協議会	鶴岡市	②	8
	キャンドルスケープinやまがた2017	山形市	山形市	③	9
	高島町エコドライブ推進事業 エコドライブコンテスト「エコわんグランプリ」	高島町	高島町	④	10
	エコ窓改修によるCO2削減効果の検証	山形県サッシ・ガラス協同組合	山形市	⑤	11
	「Q1.0住宅」でめざそう快適健康住宅(生活)	一般社団法人新木造住宅技術研究協議会 山形支部	山形市	⑥	12
	はっぴいエコプラザ寒河江	社会福祉法人さくらんぼ共生会	寒河江市	⑦	13
	地域に根差した再資源化の利用	山形電波工業高等学校	天童市	⑧	14
	下水汚泥をエネルギー源に ～バイオガスを利用した発電と熱利用～	山形市上下水道部浄化センター	山形市	⑨	15
	環境や省エネルギーに配慮した取り組み	山形市西消防署	山形市	⑩	15
行 政 ・ 地 球 温 暖 化 対 策 地 域 協 議 会	キャンドルナイトの開催	上山市地球温暖化対策地域協議会	上山市	⑪	15
	グリーンカーテンのモデル設置	上山市地球温暖化対策地域協議会	上山市	⑫	16
	公共施設グリーンカーテン設置事業	村山市	村山市	⑬	16
	木質バイオマス利用拡大支援事業	村山市	村山市	⑭	16
	GOGO!むらやま夢体験塾 自然・環境・天文講座	村山市教育委員会	村山市	⑮	17
	MBH運動事業	東根市	東根市	⑯	17
	リユース食器事業	東根市	東根市	⑰	17
	環境週間ひがしね	東根市	東根市	⑱	18
	東根市住宅用太陽光発電システム設置支援事業費補助金	東根市	東根市	⑲	18
	住宅用再生可能エネルギー設備への補助	山辺町	山辺町	⑳	18
	住宅用太陽光発電システム設置補助金	中山町	中山町	㉑	19
	食品トレーリサイクル「新庄もがみ方式」	新庄最上定住自立圏形成ごみ減量化 対策推進協議会	新庄市	㉒	19
	再生可能エネルギー設備導入事業	尾花沢市	尾花沢市	㉓	19
	役場新庁舎太陽光パネル設置事業	金山町	金山町	㉔	20
	生ごみ密閉式処理容器購入設置補助事業	河北町役場	河北町	㉕	20
	太陽光発電システム設置補助事業	河北町役場	河北町	㉖	20

分類	取り組みの名称	団体名	市町村	マップ番号	ページ
行政・地球温暖化対策地域協議会	ドキドキ自然体験教室	大江町教育委員会	大江町	②7	21
	薪釜を使ったビザ作り	置賜地域地球温暖化対策協議会	米沢市	②8	21
	地域材を活用した木造公共施設「シェルターなんようホール」(南陽市文化会館)	南陽市	南陽市	②9	21
	地域と連携したCO2排出削減推進事業	川西町	川西町	③0	22
	川西町フレンドリープラザ雪冷房システム	川西町	川西町	③1	22
	再生可能エネルギー設備設置補助事業	白鷹町	白鷹町	③2	22
	緑のカーテン事業	酒田市	酒田市	③3	23
	廃食用油からのエコキャンドル作り	酒田市	酒田市	③4	23
	「庄内町町民節電所」事業	庄内町地球温暖化対策地域協議会	庄内町	③5	23
	廃食用油(植物性)の集団回収とBDOFヘリサイクル	三川町、三川町衛生組織連合会、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会	三川町	③6	24
	住民参加型「空き缶回収事業」	三川町、三川町衛生組織連合会、各小学校、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会	三川町	③7	24
	町内会等集団資源回収、巡回資源回収、資源リサイクルステーション、資源ポストによる資源リサイクルの推進	三川町、三川町衛生組織連合会、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会	三川町	③8	24
	町民へのゴーヤ苗の配布及び公共施設、各小中学校、保育園・幼稚園へのグリーンカーテンの設置	三川町、三川町衛生組織連合会、各小学校、保育園・幼稚園、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会	三川町	③9	25
	・ゴミの分別、減量による地球温暖化防止についての出前講座 ・廃プラスチック卓上油化装置を活用したエコ出前教室の実施	三川町、三川町衛生組織連合会、各町内会、みかわ保育園・幼稚園、三川町地球温暖化対策地域協議会	三川町	④0	25
	住宅用太陽光発電システム設置補助	三川町	三川町	④1	25
	緑のカーテンプロジェクト事業	遊佐町、遊佐町地球温暖化対策地域協議会	遊佐町	④2	26
	遊佐町小中学校エコ・チャレンジ事業	遊佐町	遊佐町	④3	26
	石けんづくり教室	遊佐町地球温暖化対策地域協議会	遊佐町	④4	26
	遊佐町再生可能エネルギー設備導入支援事業	遊佐町	遊佐町	④5	27
NPO・団体等	環境出前教室(マイ著作)	NPO 環境と食農研究会	山形市	④6	27
	ecoキャンドルナイトinむらやま	NPO法人蘆葉プラザネット	村山市	④7	27
	ケンタロ・オノ環境講演会	河北町環境を考える会	河北町	④8	28
企業等	TUYエコキャンペーン 地球温暖化防止&エコ番組「山形エコプロジェクト えごころ」制作・放送	TUY 株式会社テレビユー山形	山形市	④9	28
	環境にやさしい自動車販売・整備事業場	トヨタカローラ山形株式会社	山形市	⑤0	28
	太陽光発電システム 本店・小白川支店・アグリセンターに設置	山形市農業協同組合	山形市	⑤1	29
	田んぼソーラー	長瀬農園	東根市	⑤2	29
	バイオマス燃料の製造販売	中津川バイオマス株式会社	飯豊町	⑤3	29
	エネルギーの地産地消を目指した木質ペレットとストーブの普及～Green Energy for the Future～	ペレットマン(小国グリーンエナジー合同会社)	小国町	⑤4	30
	ホテルでの環境活動の取り組み	株式会社ホテルリッチ酒田	酒田市	⑤5	30
	事業所での継続的な省エネ活動	株式会社JVCケンウッド山形	鶴岡市	⑤6	30
	地域資源活用リサイクル事業 再生可能エネルギー普及・開発	株式会社 渡会電気土木	鶴岡市	⑤7	31
	社内広報紙の発行で社員の省エネ意識の向上	株式会社エービーエム	米沢市	⑤8	31
学校	温水ため池にすむ生きもの調べ	尾花沢市常盤小学校	尾花沢市	⑤9	31

# 温暖化防止活動事例収集・発信事業 ストップ温暖化「エコカップやまがた2017」 活動事例発表会

平成29年10月28日の活動事例発表会では、報告いただいた59団体の中から実行委員会より推薦された8団体が事例の発表を行いました。多くの方にご参加をいただき、事例発表を聞いて参考になったという声が多数寄せられました。発表団体の皆様、ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。

発表団体のうち、「東根市」に『エコカップやまがた大賞』が、「環境つるおか推進協議会」に『エコカップやまがた実行委員特別賞』が贈られました。

## エコカップやまがた大賞

- ◎東根市（東根市）  
「環境ISOの取組」

## エコカップやまがた実行委員特別賞

- ◎環境つるおか推進協議会（鶴岡市）  
「環境フェアつるおか事業」

## エコカップやまがた賞

- ◎山形市（山形市）  
「キャンドルスケープinやまがた2017」
- ◎高畠町（高畠町）  
「高畠町エコドライブ推進事業  
エコドライブコンテスト「エコわんグランプリ」」
- ◎山形県サッシ・ガラス協同組合（山形市）  
「エコ窓改修によるCO<sub>2</sub>削減効果の検証」
- ◎一般社団法人新木造住宅技術研究協議会 山形支部（山形市）  
「『Q1.0住宅』でめざそう快適健康住宅(生活)」
- ◎社会福祉法人さくらんぼ共生会（寒河江市）  
「はっぴいエコプラザ寒河江」
- ◎山形電波工業高等学校（天童市）  
「地域に根差した再資源化の利用」



# 低炭素杯2018

2018年2月15日(木)に、今回で8回目を迎える「低炭素杯2018」が東京で開催されました。

「低炭素杯」は、全国の市民・企業・学校・自治体などの多様な主体が取り組む、地域や団体の特性に応じた個性的な温暖化防止の活動を、発表を通じて、取組のノウハウや情報を互いに共有し、さらなる活動に向けて連携の輪を広げていくものです。

「低炭素杯2018」では、全国1,167団体から選ばれたファイナリスト30団体（企業・学校・NPOなど）が、4つの部門（ジュニア・キッズ部門、学生部門、市民部門、企業部門）別に、4分間のプレゼンテーションを行いました。

山形県からは「東根市」が出演し、「東根市環境ISOの取組」について活動を全国へアピールしました。審査の結果、優秀賞を受賞しました。

環境大臣賞グランプリには、岩手県立遠野緑峰高等学校の取組「ホップ和紙開発プロジェクト」が選ばれました。



「低炭素杯2018」の詳細はホームページ  
(<https://www.zenkoku-net.org/teitansohai/>)にて  
ご覧いただけます。



## 環境ISOの取組

### 東根市 [マップ番号: ①]

東根市は、「環境先進都市」を掲げ、平成13年に県内自治体の中で、いち早く環境ISO14001の認証を取得しました。以後、認証を継続し、地球温暖化防止や環境保全の取組を進めています。

これに伴い、市内全小・中学校（小9校・中5校）でも環境への取組を進めていこうと、平成16年度から「学校版環境ISO」の活動を始めました。取組事項については共通項目（省エネ・省資源・リサイクル）と学校や地域の特色を生かした独自項目に分かれ、児童・職員が一体となって取り組んでいます。

また、平成17年からは「家庭版環境ISO」もスタートしました。現在は、将来を担う子どもたちに環境にやさしい生活様式を身につけてもらうため、市内児童福祉施設の年長児を主な対象として「なつのエコせいかつ」を実施しています。エコな目標を立て、達成した日はチャレンジ用紙にシールを貼る取組です。

その他「地域版ISO」の取組の一環として、ごみの減量化を目的に、東根市環境衛生組合連合会が主体となり、リユース食器（繰り返し使用できる飲食容器）の利用を推進しています。市内の町内会等の団体が飲食物を提供する事業を行う際、リユース食器の利用費用を負担しています。

今後も環境ISOの理念の普及拡大に向け、市自体もひとつの大きな事業所として、省エネ・省資源・リサイクル・廃棄物削減の推進について積極的に取組んでまいりたいと思います。





鶴岡市

## 環境フェアつるおか事業

### 環境つるおか推進協議会 [マップ番号: ②]

市民が「できることから始めよう」と環境問題を身近に考え、行動するきっかけやヒントを見つける場として、『環境フェアつるおか』を平成11年度から毎年開催し、市民の環境に対する意識の啓発及び環境モラルの醸成を図っている。地球温暖化の防止、自然環境の保全、再生可能エネルギーの普及、リサイクルなどをテーマに、市内の事業者や団体、行政が約60ブースを出展し、環境活動や取組みの紹介、工作体験、製品紹介やエコカー展示など、エコライフの提案等を行っている。

第19回となる今回は「つなげよう 一人からみんなへ 地球への思いやり」をメインテーマに9月24日に開催した。各企業・団体の出展、屋外イベントの実施などに加え、特別企画として、キリバス共和国名誉領事館のケンタロ・オノ氏を講師に迎え「国がなくなる? =気候変動・地球温暖化最前線国キリバス共和国から=」と題し、講演をいただいた。(来場者4,050名)





## キャンドルスケープinやまがた2017

### 山形市 [マップ番号: ③]

国のライトダウンキャンペーンの一環として行われ、今年度で13回目の開催になります。電気を消し、ロウソクを灯しながらゆったりとした時間を過ごす中で、夜空の素晴らしさとキャンドルの明かりの温かさを実感することにより、節電と地球温暖化防止の啓発を図るイベントです。

今年度は6月24日に、山形市役所前広場をはじめ、市内6か所で開催しました。

山形市役所前広場では、近隣小学校の児童が給食の空き牛乳パックに短冊を貼り付けた手作りキャンドルを飾り、多くの親子連れで賑わいました。

また、地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE」の取り組みの1つと位置づけ賛同を呼びかけるとともに、今年度は新たに各会場の様子をラジオ中継し、広くイベントの周知を行いました。会場内は、多くの団体の協力もあり、楽しむ子どもたちの声や協力団体の演奏する音楽で溢れ、キャンドルの光に包まれながらスローな時間を過ごすことができました。





エコカップ やまがた賞

高島町

高島町エコドライブ推進事業

エコドライブコンテスト『エコわんグランプリ』

高島町 [マップ番号: ④]

自家用車の利用が多い高島町では車からのCO2を削減するため、平成19年度からエコドライブ教習会を実施しています。

取組み開始から10年目となる平成28年度は、「COOL CHOICE」の推進事業と連動させ、教習会に加え、楽しみながら取り組める事業としてエコドライブコンテスト「エコわんグランプリ」を開催し、エコドライブの拡大に取り組みました。

コンテストは企業・団体部門、フリー部門、ファミリー部門（平成29年度はペア部門を新設）の3部門で行い、エコドライブをしたことがない方にも気軽に参加してもらえるよう、所要時間（燃費測定時間）30分の予約制で実施しています。昨年度は10月～11月に、今年度は6月～7月に約1週間開催し、合計で407人の方に参加いただきました。

また今年度は9月～11月の約3か月間、自分の車でエコドライブを行う燃費測定事業「エコドライブ・チャレンジ」を新たに開始し、参加者86名のうち74名がエコドライバーとして認定されました。





### エコ窓改修によるCO2削減効果の検証

#### 山形県サッシ・ガラス協同組合 [マップ番号:⑤]

きっかけは2010年。東北有数の山岳地帯・蔵王連峰。その麓に広がる温泉地に隣接し、豪雪と低温にさらされる山形市立蔵王第三小学校、蔵王第二中学校、校舎の一部に“お試しエコガラス窓”を、当組合から寄贈し、年2回、温度計測やサーモカメラによる撮影など一連の断熱効果計測・検証が行われました。1回目の計測では、外窓の表面温度10℃のときにエコガラスの内窓は22℃と、12℃の温度差が確認され2回目の計測では、外窓は10.4℃で内窓は24.1℃。外は雪景色、外気温1℃の中で温度差13.7℃を記録。

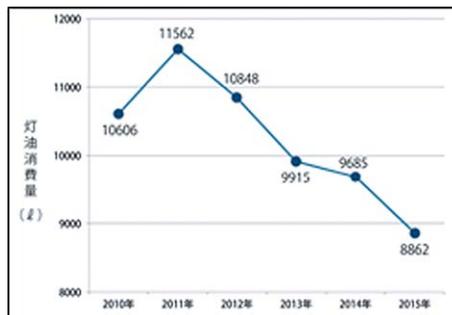
数値に加え、改修された空間に身を置いた先生たちが肌で感じた効果も、また明らかだったといいます。それは校舎全体の窓への採用を行政に強く求める動きに発展しました。

学校では毎年冬期(11月～4月)の灯油使用量の調査・記録も続けています。灯油使用量の減少など省エネ効果が具体的な形で現れたことを受け、山形市では2017年度以降、市内にある複数の別の小中学校でも、エコガラス採用の断熱改修事業を実施することを決定。



#### 樹脂製内窓

- 雪国でありながら夏の暑さも厳しい山形の気候を配慮
  - 極めて優れた性能を持つ山形産オリジナル断熱ガラス
- エコガラス「さくらんぼ」のマーク**



2010年～2015年にかけての蔵王第三小・蔵王第二中の灯油消費量の変化を示したグラフ



エコカップ やまがた賞

山形市

『Q1.0住宅』でめざそう

快適健康住宅(生活)

一般社団法人新木造住宅技術研究協議会

山形支部 [マップ番号: ⑥]

新木造住宅技術研究協議会(新住協)では、必要十分な快適性と省エネ性を備えた「Q1.0住宅」を提唱し、2009年から活動しています。その中で特に取組みを推進したい山形県内のメンバーが山形支部として、協同で出資したお金を原資に技術研修会、PR活動、一斉見学会、施工現場視察などを実施し、1社では持てない総合力を、スキルアップと受注に繋げています。また、消費者向けには、ホームページでの情報提供やセミナーの開催、住まいの温暖化対策やまがた協議会と連携した断熱リフォーム診断の実施、イベントでの相談対応などの啓発活動を行っています。

『Q1.0住宅』とは、一般的な高断熱高気密住宅の暖房エネルギー消費量がおよそ30%で済む住宅です。国の省エネ基準を超えた超省エネ住宅では、エネルギー使用量の削減に繋がり、地球温暖化防止にも大きな効果があります。さらに、建物内の快適性も向上し、健康面の向上にもつながります。

また、既存住宅に対しては、『断熱耐震同時改修』を提唱しており、既存の住宅を高断熱高気密住宅に断熱性能を向上させるだけでなく、耐震性能も同時に改善するリフォームを行っています。

なお、今年度は新たに、これまで Q1.0住宅を建築した工務店、施主が協働で、Q1.0住宅の検証を行い、Q1.0住宅より高め、つくる側とすむ側協働で Q1.0住宅の普及を目指す「生活倶楽部」の活動も開始しています。

建築理論・技術を学んでいる私たちは、山形に快適で省エネな住宅を推進するため日々の活動を行っています。





エコカップ やまがた賞

寒河江市

## はっぴいエコプラザ寒河江

社会福祉法人さくらんぼ共生会 [マップ番号: ⑦]

寒河江市内にある社会福祉法人さくらんぼ共生会では、平成27年4月より、毎週木曜日にフードセンターたかき元町店にて、「はっぴいエコプラザ寒河江」というエコ活動を実施しています。

この活動は、障がいをもった利用者の方が主体となる活動で、お買い物にいらっしゃるお客様よりリサイクル資源を持参していただき店頭にて回収、売却益を障がい者の方の活動費や作業工賃にすることを目的にスタートしました。たかき様からは、回収資源を持参していただいたお客様に対し、当日限り有効の、商品を一点10%割引きできる「エコプラザグリーン券」の発行の協力をいただいております。お得なサービス得られると同時に、お店側も集客アップの効果、そして障がい者の方々の社会参加としての役割も持っています。「三方良し」の活動となっており、当初は工賃アップが目的でスタートしましたが、地域社会に参加していくことでの交流や経験が力となり、「共生社会」の実現に繋がっています。





# 地域に根差した再資源化の利用

## 山形電波工業高等学校 [マップ番号: ⑧]

学校ではエコ活動として、再生資源化の利用を目的にペットボトル等を活用して授業で学んだ技術で“モノ”を製作し、小学生の親子ものづくり教室（出前授業）や地域行事のお祭りに参加して有効に利用しています。

- ① 学校環境で身近に取り組めてエコ環境の配慮も学習に役立てることができ、CO2削減量は、CO2 10キログラム（500mlペットボトルで換算した場合、約10,000本分の体積）。
- ② エコをテーマにペットボトルや牛乳パック等の題材を用いて、ものづくり教室を地域の小学生や親子を対象に実施。また、地元天童市で開催された天童夏まつり全日本創作みこしパレードにペットボトルを再利用したオリジナル神輿を製作し参加。最高位の「名人賞」（2連覇）を受賞。全校生でペットボトルのキャップを回収しポリオワクチン（約13名分）に寄託しました。
- ③ 再生資源を利用して授業から学んだ知識や技術（プログラムでLED発光やモータ制御）を取り入れて電気自動車を製作。各種大会で優勝等の成績を収めました。
- ④ 神輿製作には地域の方々（天童神輿會）からのアドバイスを頂きました。2011年からカメラのフィルムケースを利用した携帯型LEDライトで高齢者事故防止運動を警察、市との協働で活動を展開、現在も実施しています。



山形市

## 下水汚泥をエネルギー源に～バイオガスを利用した発電と熱利用～



## 山形市上下水道部浄化センター [マップ番号: ⑨]

下水汚泥を嫌気性消化した際に発生するバイオガス（メタンガス）を使用し、燃料電池式発電機（100kW4基）による発電をおこなっています。また、発電装置から排出される熱を回収し、消化槽の加温や事務所内の空調に利用するコージェネレーションシステムを導入しております。年間約2,000tのCO<sub>2</sub>を削減しております。

山形市

## 環境や省エネルギーに配慮した取り組み



## 山形市西消防署 [マップ番号: ⑩]

西消防署庁舎は、平成24年10月1日から供用しています。建物は免震構造で、敷地内には自家用給油取扱所、ヘリポート、自家用発電設備を備え、大規模災害の発生時には、災害対応の拠点として位置づけられる施設です。また、環境や省エネルギーに配慮した施設として、敷地内に最大限の緑地を確保し、建物の南側壁面上部には合計で90㎡のソーラーパネルを設置することで温室効果ガス排出量の削減に努めております。

上山市

## キャンドルナイトの開催



## 上山市地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ⑪]

当協議会主催でかみのやま温泉駅東口においてキャンドルナイトを開催しました。来場者に対して、環境・省エネ・エコをテーマにした地球温暖化防止を呼び掛けることを趣旨とし、今年度は次のような内容を実施しました。

- ・廃ろうそくを利用したエコキャンドルを配置し、地球温暖化などの環境問題についてともに考えるきっかけ作りとなるような時間としました。

- ・駅の中にある会場において、当協議会の紹介や地球温暖化防止を呼び掛けるパネル展示を行い、小さいお子様からも楽しく理解していただけるような環境についてのスタンプラリーを実施しました。
- ・家庭のエコアクションへの参加を呼びかけました。

上山市

## グリーンカーテンのモデル設置



## 上山市地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ⑫]

当協議会では冷房効果の向上が期待できるグリーンカーテンの普及を目的とした事業に取り組んでいます。

例年、市役所庁舎の壁面を借り受け、ネットを利用してゴーヤやアサガオ栽培の紹介を行っており、市内公民館等の各施設においても同様のモデル事業として紹介に取り組んでおります。(今年度は耐震化工事のため庁舎では行なっていません)

また、壁面やネットを設置することが難しい所においても簡単にグリーンカーテンを設置できる「どこでもグリーンカーテン」と命名したキットを製作し、市内の公民館や施設の一部に配置しております。これらにより日差しを遮り、エアコンの使用頻度を減らし、省エネ効果でCO2を削減し、うろおい環境の創出など地球温暖化防止およびその周知に取り組んでいます。

村山市

## 公共施設グリーンカーテン設置事業



## 村山市 [マップ番号: ⑬]

夏季の省エネと地球温暖化防止のため、公共施設のグリーンカーテン設置に取り組んでいます。平成29年度は、13施設でグリーンカーテンを設置し、直射日光が遮られ、エアコンの設定温度を抑えることができました。また、窓辺の緑が職員や児童に涼しさを提供してくれました。

村山市

## 木質バイオマス利用拡大支援事業



## 村山市 [マップ番号: ⑭]

再生可能エネルギーの普及促進を図るため、平成25年度から木質バイオマス燃焼機器(ペレットストーブ、薪ストーブ等)を設置する個人及び事業者に対し、補助金を交付しています。補助金額は補助対象経費の3分の1以内で上限10万円です。

村山市

## GOGO!むらやま夢体験塾 自然・環境・天文講座



村山市教育委員会 [マップ番号: ⑮]

村山市では「GOGO!むらやま夢体験プラン」に基づき、「夢体験塾」をはじめとしたさまざまな体験の場の提供に力を入れています。

そのなかの、自然・環境・天文講座は北村山視聴覚教育センター、環境科学研究センター、朝日少年自然の家、それぞれの設備や環境を最大限に生かした活動内容の講座です。川での水生生物調査では川にすんでいる生き物を観察して水質を調査しました。

身近な川でも水質が簡単に調査できることを知りました。汚れている川、澄んでいる川、どうしてその違いが出るのかを学びました。

子どもたちは、身近な所に環境問題があり、自分たちが実際に取り組める行動を自ら学んでおり、子どもたちにとって環境について考えるとてもよい機会となっております。

東根市

## MBH運動事業



東根市 [マップ番号: ⑯]

地球温暖化防止に向けて、できることから始める環境への取り組みとして平成20年5月からMBH(マイバッグ・マイはし持参)運動を全市を挙げて行っています。マイバッグ持参運動は当初4店舗でレジ袋の有料化をスタートし、現在は8店舗で実施しています。マイバッグ持参率は約90%で市民に定着し、レジ袋の使用枚数が削減されています。市職員におけるマイはし持参運動も実施しています。また、ひがしねマイはしクラブ登録制度、レジ袋削減推進店舗登録制度を設け、市商工会と協力して運動を広げていきます。

市職員におけるマイはし持参運動も実施しています。また、ひがしねマイはしクラブ登録制度、レジ袋削減推進店舗登録制度を設け、市商工会と協力して運動を広げていきます。

東根市

## リユース食器事業



東根市 [マップ番号: ⑰]

市内の町内会や子供会、学校等の団体が飲食物を提供するイベント等の事業を実施する際に、繰り返し使用できる飲食容器(リユース食器)を利用する費用を4万円を上限として、東根市環境衛生組合連合会が負担しています。その結果、ごみの発生抑制及びリユース意識の啓発を行い、ごみの減量化を図ることを目的としています。平成28年度は22件の利用がありました。

東根市

## 環境週間ひがしね



東根市 [マップ番号: ⑱]

市民、事業所、行政が一体となって環境問題に取り組むことを目的に、平成17年度から実施しています。平成27年度からホールでの講演会をメインイベントとする形式から、各イベントを回るブース形式へとリニューアルして実施しています。また、スタンプラリーやリサイクル自転車抽選会などの新たなイベントを実施し、約600名の来場者がありました。

今年度は11/19～11/26の期間を環境週間とし、19日にオープニングイベントを実施しました。

東根市

## 東根市住宅用太陽光発電 システム設置支援事業費補助金



東根市 [マップ番号: ⑲]

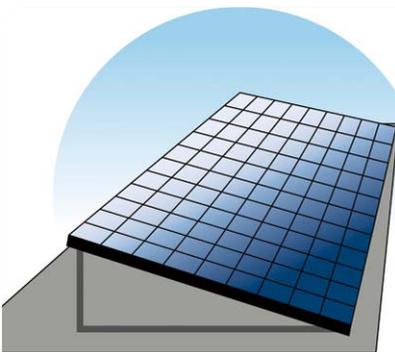
東根市では地球温暖化防止対策の一環として、平成21年度より住宅用太陽光発電システムを設置する住民の方に対して補助金を交付しています。

補助金額としては、1kWあたり30,000円で、上限額は既築、新築ともに120,000円となっています。

平成28年度の補助金交付件数は79件です。

山辺町

## 住宅用再生可能エネルギー設備への補助



山辺町 [マップ番号: ⑳]

地球温暖化防止対策として、クリーンエネルギーである太陽光を利用した住宅用太陽光発電システムを新設する方に対し2.5万円/kW(4kW上限)を助成する。また、蓄電システムについては補助対象経費の1/10の額(上限10万円)を助成し、環境に配慮したまちづくりを推進している。(※太陽光発電システムと連携した場合に限る)

中山町

## 住宅用太陽光発電システム設置補助金



中山町 [マップ番号: ㉑]

中山町では、地球温暖化防止を推進し、太陽光エネルギーを利用した発電システムの普及を図るため、住宅用太陽光発電システムを設置する住民の方に対して補助金を交付しています。

太陽光発電設備の補助金額は、1kW当たり25,000円で、上限額は新築60,000円、既築120,000円です。

また、平成28年度から新たに補助対象とした蓄電池設備（太陽光発電設備の設置と併せて設置する場合に限る）の補助金額は、補助対象経費の10分の1の額で、新築・既築を問わず、上限120,000円です。

新庄市

## 食品トレーリサイクル「新庄もがみ方式」



新庄最上定住自立圏形成

ごみ減量化対策推進協議会 [マップ番号: ㉒]

使用済みの食品トレーを回収し、再生原料に戻し、再び新たな食品トレーを作り出すリサイクルシステムを稼働しています。このシステムは、最上地域の住民・行政・小売業者・福祉施設・トレーメーカーの地域ぐるみの参加で成り立っており、資源の地域循環が行われています。これにより、ごみが減量化され地球温暖化対策になり、また、障がい者の方の収入も生み出されるため、福祉にも貢献するものとなっています。

尾花沢市

## 再生可能エネルギー設備導入事業



尾花沢市 [マップ番号: ㉓]

尾花沢市では、平成26年度より地球温暖化防止と資源循環型社会づくりを推進するため、家庭や事業所における再生可能エネルギー設備の導入経費に対して助成を行っています。

平成28年度実績は、木質バイオマス燃焼機器など全体で6件となっています。

豪雪地である当市では、今後も木質バイオマス燃焼機器（ペレットストーブや薪ストーブ）を中心とした再生可能エネルギー設備の導入を積極的に支援してまいります。

金山町

## 役場新庁舎太陽光パネル設置事業



金山町 [マップ番号: 24]

金山町役場新庁舎壁面に太陽光パネルを設置するとともに、災害時等に電気エネルギーの供給手段が断たれた際を想定して蓄電池を設置しました。災害時には、災害対策本部を設置する際に使用する電力が確保できるようになります。

また、発電した電力は、通常時には役場庁舎内で使用することができますようになり、自然エネルギーを使用することでCO2 排出量の削減につながります。

パネル出力 25.2kW  
蓄電池容量 16.2kWh

河北町

## 生ごみ密閉式処理容器購入設置補助事業



河北町役場 [マップ番号: 25]

地球温暖化防止のため、一般家庭でもごみ減量の役割が求められており、河北町では一般家庭から排出される生ごみの減量化と堆肥化による再生利用を促進するために生ごみ密閉式処理容器の購入に対し補助金を交付しています。

2基で1組とし、補助額は購入価格の2分の1以内の額(3,000円程度)です。

河北町

## 太陽光発電システム設置補助事業



河北町役場 [マップ番号: 26]

地球温暖化防止のため、一般家庭でも省エネ等の役割が求められており、河北町では平成23年度から太陽光発電システム設置費用の補助制度を設けました。平成27年度から町内の事業所への設置にも対象を拡大しました。

対象は町内の住宅及び町内の事業所に設置するもので、補助額は1kWあたり30,000円(4kWh上限)です。

大江町

## ドキドキ自然体験教室



大江町教育委員会 [マップ番号: ②]

・「外遊びという非日常の中で仲間達と協力チャレンジしその積極性を日常生活に活かす。」というコンセプトで年に4回開催。今年で6シーズン目。(小学生全学年対象。年間登録制。5シーズン目参加人数述べ約600名)

・季節に合わせて焼き芋やドラム缶風呂、軽トラ水族館、山の中に秘密基地を建設したり、空き缶パン、バウムクーヘン等、たき火で簡単クッキングを楽しんだりしている。

・化学的に地元の川のことをもっと知ってもらうために山形県環境科学研究センター、最上川フォーラム職員指導のもと水質調査と水生生物調査も並行して実施。さらには川周辺を取り巻く動植物の話などを聴講し、自分たちの住む町の自然を知る良いきっかけとなっている。

米沢市

## 薪釜をつかったピザ作り



置賜地域地球温暖化対策協議会 [マップ番号: ②]

地球温暖化防止の周知啓発イベント(環境講座と体験講座)を平成21年度から開催しています。平成29年度は小国町で開催し、体験講座「薪釜でピザを作ろう」では木質燃料の使用は地球温暖化防止につながることで、地元産の食材を使用することでフードマイレージを小さくできること、また、

地元には多様な食材があることも知ってもらいました。環境講座では、地球温暖化防止の大切さ、身近にできる省エネの取組みなどを紹介しています。

南陽市

## 地域材を活用した木造公共施設「シェルターなんようホール(南陽市文化会館)」



南陽市 [マップ番号: ②]

平成24年度林野庁所管「森林整備加速化・林業再生事業」の先駆的モデルとして事業採択を受け、事業期間を2箇年とし延床面積5,900㎡を有する新文化会館の建設に着手し、平成27年10月にグランドオープンしました。全国初となる木造耐火による文化ホールとして整備することにより、森林資源を地域産業に結び付け、木材利用の新たな可能性を拓ける契機となり、川上から川下まで関係者が一体となった持続可能な循環型社会形成を目指した先導的な取り組みと捉えています。

川西町

## 地域と連携したCO2排出削減推進事業



川西町 [マップ番号: ③0]

地球温暖化防止の推進を図るため、国民運動「COOL CHOICE」に賛同。親交ある芸術家等の協力のもと「音楽出前教室」(8月)や「環境授業&読み聞かせ」(11月)などのイベントのほか、継続的なアピールを目指し、公共施設の壁面に環境クイズボードを配置した「未来に伝える壁画」作成(8月)、さらには「豆絵本(かんきょうのおはなし)(写真)」を作成・配布(12月から)。川西町らしい芸術、文化を切り口とし親しみやすい形で広く町内外に啓蒙普及を図り好評を得た。

川西町

## 川西町フレンドリープラザ雪冷房システム



川西町 [マップ番号: ③1]

川西町では、劇場や図書館などの大型複合施設「フレンドリープラザ」に、雪を使った冷房を導入しています。これは、雪国にとって“やっかいもの”であった雪を貯蔵し、夏に資源として活用するという古くて新しいシステムです。このシステムを導入したことにより年間約14トンのCO<sub>2</sub>排出を削減しています。雪冷房システムの雪を貯蔵する貯雪庫は2棟あり、大きさは延床面積394平方メートル、軒高8.2メートルで、貯雪計画量は963トンとなっています。この給雪量で年間334時間の冷房能力があり、フレンドリープラザの冷房能力を十分確保しています。

白鷹町

## 再生可能エネルギー設備設置補助事業



白鷹町 [マップ番号: ③2]

白鷹町では、平成25年度より住宅における再生可能エネルギー利用の普及を推進し、地球環境の保全に寄与するため、再生可能エネルギー設備を設置する方に対して、補助金を交付している。平成27年度からは太陽光発電設備のほかに木質バイオマス燃焼機器(ペレットストーブ及び薪ストーブ)にも拡充した補助事業を実施している。

住宅用太陽光発電設備には太陽電池出力1kWあたり25,000円(上限10万円)、木質バイオマス燃焼機器には補助対象経費の2分の1(上限金額10万円)の補助をしている。平成28年度の補助実績は、住宅用太陽光発電設備が12件、木質バイオマス燃焼機器が7件となっている。

酒田市

## 緑のカーテン事業



酒田市 [マップ番号: ③③]

平成20年度から省エネ・地球温暖化対策として市の施設に緑のカーテンを設置しています。平成26年度からは、多くの市民や事業所の方からも取り組んでいただくためにゴーヤの種と育て方の手引を無料で配布しています。平成29

年度は、個人の方(約450世帯)や事業者、公共施設に約11,600粒配布しました。(平成22年度～25年度まではゴーヤの苗を配布していました)

酒田市

## 廃食用油からのエコキャンドル作り



酒田市 [マップ番号: ③④]

平成23年度より、小学校の高学年を対象に、廃食用油を原料としたエコキャンドル作りを行っています。そしてリサイクルをはじめとする3Rに関する説明を行うことにより、ゴミの減量化や省エネルギーについても考えてもらいます。このエコキャンドルを夏至と七夕のライトダウンを

行う際に使ってもらうことで、地球温暖化防止を含めた環境教育につながっています。平成29年度の参加人数は、12組27名でした。

庄内町

## 「庄内町町民節電所」事業



庄内町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ③⑤]

庄内町地球温暖化対策地域協議会では今年度も地球温暖化防止活動の一環として「庄内町町民節電所」事業を実施しています。

この事業は平成15年度から継続して実施し、今年で15年目を迎えました。

その間たくさんの町民の方々から参加して頂いて「環境共生 日本一の町づくり」を目指す庄内町の一翼を担えた事は大変有り難い事だと思っています。

この事業は「低炭素杯2016」にて、「気象キャスターネットワーク最優秀地域・学校エコ活動賞」という名誉ある賞を受賞しております。

三川町

## 廃食用油（植物性）の集団回収とBDFへリサイクル



三川町、三川町衛生組織連合会、各町内会、  
三川町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ③⑥]

平成21年度から、各家庭の廃食用油（植物性）を各町内会で設置した回収ボックスにより回収しています。各町内会から回収された廃食用油は、事業所から回収された廃食用油とともに鶴岡市内の民間工場でバイオディーゼル燃料（BDF）にリサイクルされています。

そのことにより、ゴミ総量の減量や燃料費の削減が図られるとともに、町民の環境保全に対する意識啓発等に繋がっています。

なお、平成28年度に各町内会から回収した廃食用油は610㍓で、ごみ収集車に給油したBDFは2,743㍓でした。

三川町

## 住民参加型「空き缶回収事業」



三川町、三川町衛生組織連合会、各小学校、各町内会、  
三川町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ③⑦]

各家庭から出る空き缶を各町内会が設置した回収ボックスで分別回収することにより、ゴミ総量の減量とCO<sub>2</sub>の削減、環境保全の意識啓発を図りました。平成28年度は、アルミ缶が5.6t、スチール缶が2.5t、合計で8.1t回収しました。

また、町立の横山小学校、東郷小学校、押切小学校の3小学校で実施している空き缶回収は、平成28年度にアルミ缶0.9t、スチール缶0.2t、合計1.1tを回収することができました。

三川町

## 町内会等集団資源回収、巡回資源回収、 資源リサイクルステーション、資源ポストによる資源リサイクルの推進



三川町、三川町衛生組織連合会、各町内会、  
三川町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ③⑧]

各家庭から出る資源ごみについて、各町内会等による集団資源回収、各町内会を巡回する巡回資源回収、町公民館駐車場に設置した資源リサイクルステーションと資源ポストで回収することにより、ゴミ総量の減量とCO<sub>2</sub>の削減、資源リサイクルの意識啓発を図りました。

平成28年度は、集団資源回収を全27町内会で延べ66回、巡回資源回収を126日実施し、資源リサイクルステーション及び資源ポストを51日開所しました。その結果、集団資源回収では計181.4t、巡回資源回収では計17.3t、資源リサイクルステーションでは計76.8t、資源ポストでは計5.0t、合計で280.5tの資源ごみを回収することができました。

また、平成29年度からは、毎週日曜日に資源リサイクルステーションの開所時に携帯電話やパソコン等の使用済小型家電も回収しています。

三川町

## 町民へのゴーヤ苗の配布及び公共施設、各小中学校、保育園・幼稚園へのグリーンカーテンの設置



三川町、三川町衛生組織連合会、各小中学校、保育園・幼稚園、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ③9]

希望する町民へゴーヤ苗の無料配布（69世帯と8事業所、352ポット）及び公共施設等へのグリーンカーテンの設置（平成29年度は、役場等の公共施設3ヶ所、各小中学校4ヶ所の計7ヶ所に計100ポット）を行いました。

町民にグリーンカーテンの設置を奨励するとともに、公共施設や学校等へグリーンカーテンを設置し、室内温度の上昇防止によるエアコン等の稼働抑制が図られ、Co2の削減、地球温暖化防止の意識啓発に繋がっています。

三川町

- ゴミの分別、減量化による地球温暖化防止についての出前講座
- 廃プラスチック卓上油化装置を活用したエコ出前教室の実施



三川町、三川町衛生組織連合会、各町内会、みかわ保育園・幼稚園、三川町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ④0]

町内会の集会で家庭から出るゴミの分別、ゴミ総量の減量とCo2の削減、環境保全についての出前講座を開催しています。

また、今年度も、平成30年2月9日にみかわ保育園・幼稚園に出向き、廃プラスチック卓上油化装置の実演による環境保全の意識啓発を行う出前教室を実施しました。

三川町

## 住宅用太陽光発電システム設置補助



三川町 [マップ番号: ④1]

一般家庭での省エネ、新エネルギーの導入を積極的に進めるため、平成26年度より太陽光発電システム設置費用の補助制度を行っています。

山形県の制度で、同様の補助金を受ける方も対象になります。

町の補助金の額は、1kWあたり3万円（上限12万円）です。

平成28年度の補助金交付件数は13件で、太陽光発電設備最大出力合計では57.7kWでした。

遊佐町

## 緑のカーテンプロジェクト事業



遊佐町、遊佐町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ④②]

夏場の省エネ及び地球温暖化防止活動のため、町民、事業者にごーヤの種の無料配布を行っている。今年29年度については、種一袋に苗2本をセットにし、限定100本(50セット)の枠で行った。

また、役場庁舎をはじめ、地区町づくりセンター、

図書館、学校および保育園で緑のカーテンの設置を行っている。

28年度は配布本数256本、29年度は172本を設置し、事業に協力いただいている。エアコン等の稼働抑制、CO<sub>2</sub>の削減、地球温暖化防止の意識啓発に繋がっている。

遊佐町

## 遊佐町小中学校エコ・チャレンジ事業



遊佐町 [マップ番号: ④③]

児童生徒自らが電気・水道の省エネ目標を設定し行動することで、学校における環境教育と地球温暖化防止に向けた省エネ活動の一層の推進を図ることを目的としている。

削減目標をクリアした学校へは報奨金で還元をし、子供会活動などに役立ててもらおう仕組み。これまでのフィフティフィフ

ティ事業から、新たに、子供たちの省エネの取組み過程も評価対象として支援する事業である。

子供達の環境学習の取組みの浸透から、家庭生活への波及効果も期待される。

(事業実施期間：平成28年度～平成30年度) ※平成25～27年度についても実施済

遊佐町

## 石けんづくり教室



遊佐町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ④④]

平成27年度より「子ども省エネ体験教室」と題し、夏休みを利用して小学生とその保護者を対象に、手づくり石けん教室を開催している。町内の団体であるJA庄内みどり女性部せっけん研究会より協力をいただき、廃食油から石けんを作成している。

平成28年度の参加人数は、子ども13人、大人10人。

平成29年度の参加人数は、子ども10人、大人10人。

環境汚染問題と資源の再利用を考えたエコな石けんである。また、石けんは、微生物のエサとなって分解されるので川や海を汚さない。地球温暖化防止を含めた環境教育につながる活動である。

遊佐町

## 遊佐町再生可能エネルギー設備導入支援事業



遊佐町 [マップ番号: ④5]

一般家庭や事業所への再生可能エネルギー設備の導入を普及促進し、地球温暖化防止に寄与するため、平成26年度より太陽光発電設備導入補助事業から木質バイオマス燃焼機器や太陽熱利用などにも拡充した補助事業を実施している。対象は、町内在住者の住宅や事業所に設置する場合、山形県の補助事業または町の住宅支援制度とあわせて受けることができる。

太陽光発電設備については公称最大出力1kWあたり3万円(上限150,000円)、木質バイオマス燃焼機器については補助率3分の1(上限50,000円)の補助を行っている。

平成28年度実績	太陽光発電設備	6件	
	木質バイオマス燃焼機器	2件	
平成29年度申請	太陽光発電設備	13件	※8月末現在
	木質バイオマス燃焼機器	0件	

山形市

## 環境出前教室(マイ箸作り)



NPO 環境と食農研究会 [マップ番号: ④6]

各地域の行事や小学校の学年行事などで環境出前教室(マイ箸作り)を開催しています。環境出前教室では、割り箸や森林伐採による環境への影響、地球温暖化の話、自作絵本「ゆうたとおはし」の読み聞かせ、オリジナルマイ箸の製作を通じて、マイ箸利用を子供たちやその親御さんに啓蒙しています。

平成28年度は4回開催し、221名の方に参加いただきました。

村山市

## ecoキャンドルナイトinむらやま



NPO法人甌葉ブラザネット [マップ番号: ④7]

5月27日(土)、村山市甌葉プラザにて「ecoキャンドルナイトinむらやま」を実施しました。

村山市内の小学生に牛乳パックで作ってもらった、およそ400個のエコキャンドルの火が灯る中、会場ではオカリナ演奏なども行われ、幻想的な雰囲気になりました。

また、その他の出し物として子ども服の交換会・エコキャ

ンドルカービング体験・新聞バッグづくり

・牛乳パックリサイクル工作など、楽しみながら「エコ」を体験できるワークショップが数多く行われました。優しいエコキャンドルの灯りをとおし、エコについて考える一夜となりました。

河北町

## ケンタロ・オノ環境講演会



## 河北町環境を考える会 [マップ番号: ④⑧]

8月28日、「地球温暖化で起こっていること ケンタロ・オノ環境講演会」を開催し、現在キリバス名誉領事のケンタロ・オノ氏は、赤道直下の国が地球温暖化による海面上昇で国土消滅の危機に瀕している現状を訴え、美しい国を子どもたちの将来にも残していきたいと語った。

参加費にはキリバスヘソーラーランタンを贈る支援金も含み50個を贈ることができた。聴衆から「こんなにも美しい国の現実を痛いほど知った」等の感想が寄せられた。

山形市

TUYエコキャンペーン地球温暖化防止&エコ番組  
「山形エコプロジェクト えこいろ」制作・放送

## TUY株式会社テレビユー山形 [マップ番号: ④⑨]

TUYでは、長期的キャンペーンとして、弊社の情報番組やニュース番組、キャンペーンスポット放送を通して「エコ&地球温暖化防止」の啓発活動を展開していますが、更に新鮮で身近な情報を県民に伝えるために、エコと地球温暖化防止のレギュラー番組「山形エコプロジェクト えこいろ」を立ち上げ、2009年6月から放送しています。毎週月曜の夜6時54分から放送の6分間の番組で、毎回一つのテーマを設け、県内で取り組まれている大小様々なエコ活動や温暖化防止に関連する情報を中心に紹介しています。県民一人一人のエコへの関心が身近なものとなり、その取り組みが普段の生活の中から自然に生まれることを目指し、身近な目線で番組をつくっています。

山形市

## 環境にやさしい自動車販売・整備事業場



## トヨタコーラ山形株式会社 [マップ番号: ⑤⑩]

国土交通省「環境に優しい自動車販売店・整備事業場」認定に挑戦し、05年に全店が“全国初”となる「認定表彰」を受ける。「環境マイスター」の認定者数は県内最多であり、エコドライブ教室や小学校5年生を対象に「日本の自動車産業と環境」の課外授業を開催。

その他、無料でタイヤ空気圧調整を行ったり、ペットボトルキャップ回収を積極的に行い、「世界の子供たちへのポリオワクチンの提供活動」、「リサイクルによるCO<sub>2</sub>削減活動」を行っている。

また、本社社屋に大規模な太陽光発電(40kW)を設置、城北店・天童店・新庄店には廃油ボイラーによる「無散水消雪設備」を導入している。

## 山形市

## 太陽光発電システム 本店・小白川支店・アグリセンターに設置



## 山形市農業協同組合 [マップ番号: ⑤1]

JA山形市の太陽光発電システムは3基合計で年間162,600kwhを発電します。これは一般家庭の消費電力量の約50世帯分に相当します。

また、石油に換算すると18Lポリタンク2050本分、36,900Lに値します。

これからも環境保全・再生可能エネルギーの普及という社会的要請に答え、地域に向けて発信して行きます。

JA山形市の太陽光発電システム	本店ビル	平成21年12月稼働	出力	40kw
	小白川支店	平成22年3月稼働	出力	12kw
	アグリセンター	平成25年12月稼働	出力	117kw
			合計	169kw

## 東根市

## 田んぼソーラー



## 長瀬農園 [マップ番号: ⑤2]

田んぼの上にソーラーパネルを並べ、耕作と共に太陽光発電を行う。2012年農水省の指針により条件付きながら農地上にて太陽光発電をすることが認められた(ソーラーシェアリング又は営農型太陽光発電という)。ソーラーシェアリングは発案者の長嶋彬氏の公開特許となっている。

指針の条件に基づき2014年秋、東根市の18aの田んぼに出力約30kwの発電所を作り、翌年の1月より通電開始する。1年間の発電量は約33000kwh。パネル下部の稲作も遮光率30%以下ではほとんど影響はなく順調に生育している。

このソーラーシェアリングの取り組みは全国で700以上あるが、稲作での事例は数か所でありまだ少ない。

## 飯豊町

## バイオマス燃料の製造販売



## 中津川バイオマス株式会社 [マップ番号: ⑤3]

平成21年11月に操業し、ペレットや薪の燃料等の生産を行っている。ペレットは、置賜地方のペレットストーブに供給。

ペレット150t/年の生産を目指している。ペレットや薪を利用することは、ナラ枯れ防止、樹木の若返りを促しCO2の削減に寄与する。

## 小国町

エネルギーの地産地消を目指した木質ペレットとストーブの普及  
～Green Energy for the Future～

## ペレットマン

(小国グリーンエネルギー合同会社) [マップ番号: ⑤4]

当社は、人口8500人ほどの町でストーブ屋を営んでいます。東京23区がすっぽり入るこの町の面積は95%が森林であり、この地元にある豊かな森林資源を活用して地球温暖化防止や町の地域活性化に貢献したいという思いから始めました。

また、当社では、WEBやストーブ展示場「ペレットマン」を開設しストーブのPRを行っていますが、同じ思いでストーブ等を広めていく方達が、鶴岡市や酒田市や最上町等にも展示場「ペレットマン」を開設しました。なお、現在も増殖中です。

また、再エネに関心を持ってもらおうと、当社が事務局を務める「おぐにエネルギーの地産地消を考える会」にて、毎年シンポジウムやフェスティバルを開催し、町内外から多くの参加者が集まります。

## 酒田市

## ホテルでの環境活動の取り組み



株式会社ホテルリッチ酒田 [マップ番号: ⑤5]

当ホテルは、国際環境認証「グリーンキー」を観光施設として日本で初めて2009年5月に取得しました。グリーンキーとは基準を満たした宿泊施設に与えられるエコラベルで、海外にも通用するエコホテル・旅館とされます。

従業員やお客様、出入りの会社などすべての関係者の方に対して、環境保全活動をいかに呼びかけていくかを常に考え、お客様と一体となった環境活動を展開しています。

また、2017年より庄内環境マネジメント研究会に入会し、環境活動の幅を広げています。

## 鶴岡市

## 事業所での継続的な省エネ活動



株式会社JVCケンウッド山形 [マップ番号: ⑤6]

工場全体の電力使用状況の再把握を行い、製造フロアの再レイアウト、レイアウトに合わせたビニールカーテンでのゾーニングを進めると同時に、これまで使用していた床置型パッケージエアコンに代え天井エアコン化を2013年度から進めて来ました。レイアウト対応でのビニールカーテン等でのゾーニングは市販品を使い自分たちで都度対応。ゾーニングすることでエリアが明確になり不要な照明の使用抑止にもなっています。

新しいものに入れ替えるだけではなく既存機を上手く改善しながらまずは運用改善を行い設備改善とバランスを取りながら省エネ策を取り入れ省エネに努めています。

鶴岡市

## 地域資源活用リサイクル事業 再生可能エネルギー普及・開発



## 株式会社 渡会電気土木 [マップ番号: ⑤7]

当社では、地元地域の黒松及び杉材間伐材等を原料とした木質ペレット燃料を年間約1,500 t（平成27年度実績）生産し、地域に供給販売しております。

化石燃料の代替燃料として各施設のペレットボイラー普及にも力を入れております。

また広葉樹等の木質チップをリサイクル利用した臭いのしない各種プランター用土並びに土壌改良材、木質ペレットを利用する農業ハウス用ペレットストーブの開発販売、経験を生かした木質ペレットプラントの設計・施工と、環境に優しい事業展開を押し進めております。ものづくり推進事業として、厄介者である土砂が付着した伐根を洗浄してペレット燃料等に活用する、抜根洗浄機の開発もしております。また、マイクロ水力発電開発分野に於いて他社と共同で、産学官連携開発の実施推進を行う他、小型風車の実証実験も行っていきます。

米沢市

## 社内広報紙の発行で社員の省エネ意識の向上



## 株式会社エービーエム [マップ番号: ⑤8]

全社員が「エコアクション21」への理解を深め、より楽しくエコ活動を進められるように、社内広報紙「エコロジー」を毎月発行しています。「エービーエムのエー」と「エコロジー」を合わせたタイトルで、エービーエムの会社のエコへの取り組み状況や、社有車の燃費を数値化した「E-1GP（イーワングランプリ）」、家庭でも簡単に取り組める「今月のエコ目標」などを掲載しております。

当初は社員のための配布でしたが、現在は御来社いただいたお客様にも見ていただけるように環境活動レポートとともに設置しております。

おかげさまで、社員の省エネ意識も向上し、無事エコアクション21を認証取得することができました。

この広報紙を印刷する紙は弊社で指定管理している「米沢市児童会館」の広報紙の裏紙を再利用しております。

尾花沢市

## 温水ため池にすむ生きもの調べ



## 尾花沢市常盤小学校 [マップ番号: ⑤9]

貴重な水辺の自然環境を守るために、児童たちが地域の水環境や生態について学ぶ「生きもの調べ」を行っています。自然や水環境の大切さを知ってもらおうと、六沢地区環境保全会の方々と毎年秋に中原ため池（温水ため池）で開催しており、今年で4回目となりました。

今年度の「生きもの調べ」は常盤小学校・鶴子小学校の合同総合学習として行われました。

28人の児童が参加し、東北農政局の職員からため池の役割や生態の説明を受けた後、網とバケツを持って泥の中へ足を踏み入れました。温水ため池にはフナ、ドジョウ、ハヤ、ゲンゴロウなどが多く生息しています。子ども達は泥だらけになりながら魚を捕まえて、友達に自慢するなどしていました。

身近に豊かな自然があることを、楽しみながら学んでほしいと思い、毎年「生きもの調べ」を行っています。

## 共催団体の活動の紹介

山形市

### ～エコドライブ普及推進事業～

#### NPO法人山形県自動車公益センター

昨今、環境に配慮した次世代自動車（HV・PHV・電気・燃料電池・クリーンディーゼル等）、また、自動ブレーキやペダル踏み間違い防止装置などを搭載した安全運転サポート車（略称：サポカー）の普及推進を始め、温暖化防止に向けた環境整備は基より、今後、加速度的に進む超高齢化社会を見据え、自動車業界における社会的責任である「安心・安全なクルマ社会の構築」に向け、様々な取組みがなされております。

結果的にエコドライブ普及に繋がる、その革新的な技術・装置等の活用については、より正確な情報の伝達は基より、更に高い効果を生み出すには「正しい運転姿勢が基本」であることを改めて認識いただけるよう、環境マイスターからの情報発信の質の向上を目指す必要があると考えております。

また、平成27年度より展開しております「子どもエコドライブ教室」は、これまでに20校で開催「子供の目線で気づく優しいエコ運転」を始め、「より環境・人に優しい山形」でありますよう努めて参ります。



「エコカップやまがた」ホームページも  
ご覧下さい。

<http://eny.jp/eco-cup/index2017.html>

エコカップやまがた

検索

# 過去のエコカップやまがた大賞受賞団体



2007年度

特定非営利活動法人アンプ(新庄市)  
「新庄中心商店街資源回収  
プロジェクト「ちょぺっと」」



2013年度

山形県立東根工業高等学校(東根市)  
「続ける手作り太陽電池パネルと資  
源の有効活用～持続可能な  
まちづくりのために～」



2008年度

山形県立置賜農業高等学校(川西町)  
「MOTTAINAIプロジェクト」



2014年度

株式会社滝の湯ホテル(天童市)  
「人と環境に優しい宿づくり」



2009年度

山形県立東根工業高等学校(東根市)  
「ものづくりプロジェクト  
～手作り太陽電池パネルから  
広がる世界のCO<sub>2</sub>削減～」



2015年度

庄内町地球温暖化対策地域協議会  
(庄内町)  
「庄内町町民節電所」事業



2010年度

港屋商事株式会社(河北町)  
「古紙回収を通じての  
環境保護活動」



2016年度

南陽市(南陽市)  
「地域材を活用した木造公共施設  
(南陽市文化会館)」



2011年度

山形県立米沢工業高等学校(米沢市)  
「米エゼロエミッション  
プロジェクト」



2017年度

東根市(東根市)  
「環境ISOの取組」



2012年度

山形県立山形工業高等学校  
環境システム研究会(山形市)  
「リサイクルDEボランティア」



# 温暖化防止活動事例収集・発信事業

## ストップ温暖化

### 「エコカップ やまがた2017」

# 活動事例集

【製作（主催）】

ストップ温暖化「エコカップ やまがた2017」実行委員会

【共 催】

NPO法人山形県自動車公益センター

【後 援】

山形県、山形県教育委員会

【事務局】

山形県地球温暖化防止活動推進センター

【発行日】

平成30年2月20日



【本冊子についての問合せ先】

山形県地球温暖化防止活動推進センター  
(特定非営利活動法人 環境ネットやまがた)

〒990-2421 山形県山形市上桜田3-2-37

TEL 023-679-3340 FAX 023-679-3389

E-mail eny@chive.ocn.ne.jp ホームページ <http://eny.jp>

※各団体の連絡先は、事務局（山形県地球温暖化防止活動推進センター）までお問い合わせください。